

スラグ透水試験



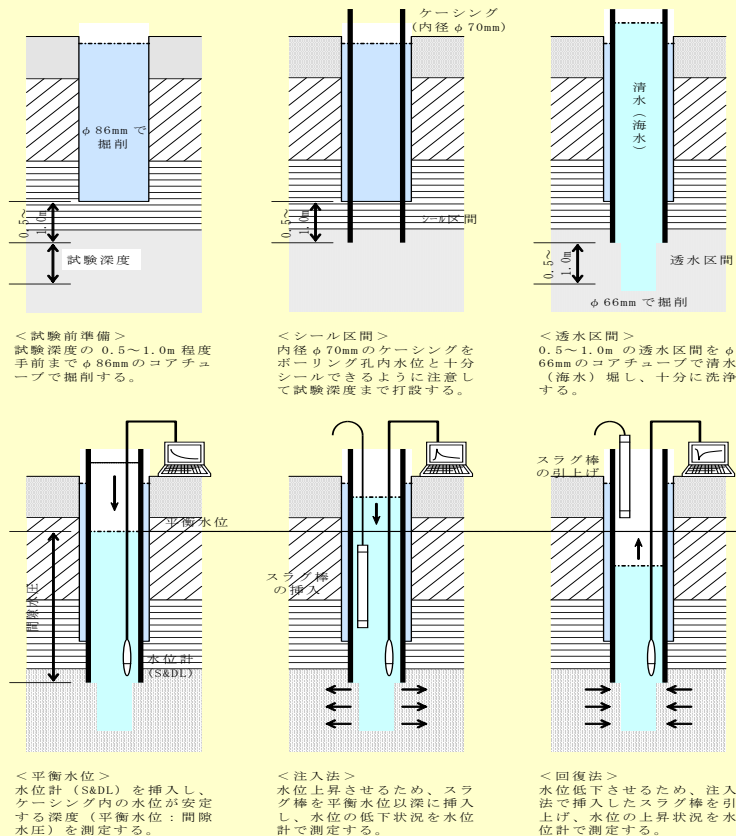
概要

スラグ透水試験は、棒状の重い防水円筒管(スラグ)を水面に挿入または引抜いたりすることで、試験管内の水位を変動(上昇または下降)させ、その水頭変化を記録する試験です。試験管内の水面下にスラグを挿入すると、水頭は押し上げられる。その後、水が試験区間に浸透すると同時に水頭が降下し始める。(下降試験: 注入法) 逆にスラグを引き上げると、水頭は降下する。その後、試験区間から管内に水が浸入し上昇する。(上昇試験: 回復法)

試験方法

試験方法は、現場透水試験とほぼ同様であるが、水位変動をスラグ棒の挿入・引き上げで行うこと、水位測定に水位計を使用する点異なる。

<スラグ試験の概要図>



特長

- ◆ スラグ試験では、現場透水試験に比べてあたえる水頭差が小さいことから、試験区間の地盤を乱すことが少なく、また水位変動を測定する時間を短縮することができる。